

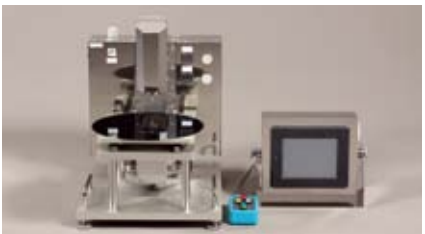
培ってきたノウハウ、ネットワークでお困り事を解決！

機械部品、装置のご提案ならお任せ

佐々木工機

「他社のどこにもできないことをやるというチャレンジ精神を大事にしている」。佐々木工機（川崎市高津区下野毛、佐々木政仁社長、044・844・0338）の佐々木社長は胸を張る。同社はマシニングセンター、NC旋盤、放電加工による機械部品加工を行っており、手掛ける分野はブルドーザーや遠心分離機、パン焼きの製造機械等多岐に亘る。

注文に応じるだけでなく、協力企業とのネットワークにより、顧客の様々なニーズに対し、設計から部品の加工、完成まで一貫して提案できる点が同社の強みである。「難しい依頼内容もあるが、チャレンジを重ねることでノウハウが蓄積され、次の機会に活かすことができる」。その代表的な事例が、非接触厚さ測定装置「OZUMA22」だ。「エアーによる非接触型の測定装置が欲しいが、他社では見積もりが予算を超えてしまった。開発してもらえないか」という依頼で生まれた「OZUMA22」は、主に半導体用ウエハー（各種材料）、ガラス、金属等の厚さ等を測定する装置。分解能（測定できる最小単位）は0.1μm、10回連続測定時の標準偏差



非接触厚さ測定装置「OZUMA22」



レクリエーション福祉機器「コロコロくん」

は0.3μm以下という高精度。エアータメキズ等のダメージを与えず、水に濡れた測定物でもエアが水を飛ばし正確な測定ができる。さらにガラスや鏡面、反りがあっても問題なく、1カ所当たり4〜6秒で測定でき、また、誰でも簡単に操作可能という優れものだ。

さらに、佐々木社長は福祉分野に着目し、レクリエーション福祉機器「コロコロくん」を開発した。「コロコロくん」は手や足で踏むことで傾く円形のボードにボールを乗せ、複数人でボードを囲み多様なゲームを行う器具である。対象は子供やお年寄り。楽しみながら筋肉や脳の活性化を促し、認知症予防が期待できる。複数名で協力して行うゲームだから自然と会話も生まれる。「コロコロくん」はその効果が認められ、「川崎ものづくりブランド」に認定された。「部品加工という枠にとらわれず、移り変わる時代のニーズを見据え、お客様の困り事に柔軟な対応をしていきたい」と佐々木社長は意気込む。これからも、チャレンジ精神あふれる製品の数々を世に送り出していくことだろう。

詳しくはホームページにて

<http://www.sasaki-koki.co.jp>